



令和元年 5月28日 Vol.1  
 青年海外協力隊 2019年度 1次隊  
 半田 麻実

Bonjour! こんにちは! 若葉台小学校のみなさんお久しぶりです! 今年度から小学校を離れて、青年海外協力隊としてアフリカのセネガルで活動をする半田麻実です。小学校では、先日、運動会が開催されましたね。これまで、暑い中たくさんの練習をよくがんばってきたことと思います。そして、運動会当日も最後までやり切ったみんなに拍手を送ります! みなさんの様子は、学校のホームページでしっかりチェックしてますよ♪

実は、半田先生は今、長野県の駒ヶ根市(こまがねし)というところにいます。「あれ!?セネガルじゃないの?」と思ったそこのみなさん! セネガルはそんなに簡単に行ける場所ではありません(笑) 半田先生は今、セネガルに行くための修行を積んでいるところです!

**青年海外協力隊(JICA【ジャイカ】)ってなに?**



このマークにピンときた人もいるかもしれませんね。実は、小学校でも JICA について学習する時間があります。6年生の社会の教科書(下)や道徳の教科書にのっています。ほんの少しだけ〇×クイズで紹介!

- ① 青年海外協力隊はみんな外国の学校で勉強を教える。〇?×?  
 ⇒ **×** どんな仕事をするのかは人によって違います。なんと仕事の種類は120種類以上も!!ほかにどんな仕事があるか、気になりますね!
- ② 青年海外協力隊はみんな英語を使って仕事をする。〇?×?  
 ⇒ **×** どの国に行くかによって話す言葉は違います。英語、スペイン語、ネパール語などたくさん!ちなみに半田先生はフランス語を使って働きます。まだまだ書きたいところだけど…ぜひ、自学や調べ学習をしてみてください、ここまで!さあ、JICA もの知り博士はだれだ!?

**広げよう** 世界で生かす自分の力

世界には二百近い国がありますが、そのうち約百五十か国が開発途上国といわれる国です。開発途上国には食糧、学校や病院などが十分でないために、苦しんでいる人がたくさんいます。また、紛争によって、多くの難い命が失われている地域もあります。青年海外協力隊とは、自分もつづけている技術や経験を生かして、開発途上国の国づくりに協力するボランティアの制度です。

世界中にある開発途上国に派遣され、現地で授業や通訳、同じ物を持って、そこで暮らす人と共に生活をします。

**世界で生かす自分の力 青年海外協力隊の活動。例えば……**

<p>学校で学ぶことができるようになるために</p> <p>学校を作り、先生として勉強を教える。(写真 津谷敦也/JICA)</p>	<p>安定して食糧を食に入れるために</p> <p>田畑作りを助け、作物の作り方を教える。(写真 津谷敦也/JICA)</p>
<p>新しい技術を使って生きていく力をつけるために</p> <p>コンピュータや機械の使い方のなどの技術を教える。(写真 船場明人/JICA)</p>	<p>感染症などの病気にならないために</p> <p>病気の知識や、清潔な環境づくりを教える。(写真 船場明人/JICA)</p>

**どんな訓練をするの…?**  
 ~一部紹介~



何の写真だ!?そう思いますよね。これも、海外で活動するために必要な勉強です。さて、いったい何をしているのか…正解は、次回のお楽しみに!

**今日から使えるフランス語**

ボンジュール!  
**Bonjour!**  
 こんにちは!

フランス語のあいさつです。朝も昼も使えます。明日のあいさつ運動はみんなでさげぼう!

「Bonjour!(ボンジュール!)」

これからも、この「セネガル通信」を通して、現地に向かうまでの訓練の様子や、セネガルの様子など、たくさん発信していく予定です!たくさんの人に少しでも世界に興味をもってもらえたら…と願いをこめて書いています!ぜひご一読ください!